科目名	68. 産褥期の看護				
履修年次	2年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 (25時間)
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	産褥期における看護を理解することができる				
到達目標	産褥期の身体的・社会的・心理的変化と家族の変化をふまえ、対象に必要な看護について表現することができる				
評価方法	筆記試験（70点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（30点）による総合評価を行う				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学各論　母性看護学②　医学書院 ウェルネスからみた　母性看護過程　+病態関連図　医学書院				
参考文献					
教育方法と学生への期待 （求めること）	「産褥期の看護」では産褥期の身体的変化、褥婦及び家族の心理・社会的変化について学び、必要な看護について事前学習を通して褥婦への理解を深め、紙面での演習を通じてアセスメントを行い、臨床現場で活用できる知識の修得を目指します。 そのため、褥婦への興味関心を持って学習に取り組み、協同学習を通じて自己理解・他者理解を深め、多様な価値観を共有できるよう自分の意見を持つとともに他者の意見を柔軟に取り入れる等、積極的な学習姿勢を臨みます。				

回	学習項目	学習内容	授業 方法
1	正常な産褥の経過	産褥とは 退行性変化	講義
2	正常な産褥の経過	進行性変化	講義
3	産褥期の変化	褥婦の身体的、社会的・心理的変化	講義
4	褥婦の観察	健康状態のアセスメントに必要な情報	講義
5	褥婦の健康と生活のアセスメント	観察や問診で得た情報をもとにアセスメントを行う（産褥1日目）	講義

6	褥婦の健康と生活のアセスメント	褥婦の観察とアセスメント（産褥1日目）	講義
7	褥婦の健康と生活のアセスメント	褥婦の観察とアセスメント（産褥1日目）	講義
8	褥婦と家族への看護	子宮復古に関する看護、母乳栄養確立に向けての看護、褥婦の日常生活とセルフケア	講義
9	褥婦と家族への看護	育児技術獲得への看護、家族の再調整、産褥期の関係する法律	講義
10	褥婦と家族への看護	母親役割獲得への技術演習	講義
11	産褥期のおける看護	受け持ち事例の紹介、アセスメント、必要な看護の発表	講義
12	産褥期の異常と看護	帝王切開術、子宮復古不全、乳腺炎、産褥精神障害、児をなくした褥婦、家族への看護	講義
12.5	まとめ	産褥期の看護	講義